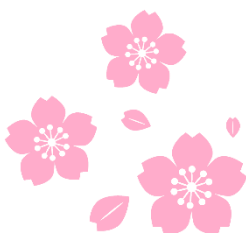


# TC 通信

No 110 2023年3月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。



## 『齋藤孝先生が選ぶ高校生からの読書大全』

齋藤 孝/著 東京堂出版 019.9/サ/22

中学生の時に勝海舟『氷川清話』にハマリ、高校生の際は司馬遷『史記』を読みふけた齋藤孝先生。幼いころから膨大な量の本を読んできたそうです。その中から、「知性と教養に溢れた人生を歩むため」に厳選した本を15のテーマで180冊、見開きで紹介しています。『 Barton版千夜一夜物語』、『ソクラテスの弁明』といった古典文学や哲学書など難しい本が多数ありますが、魅力的な紹介文によって、「読んでみようかな」という気持ちになります。本を読むことは、偉大な先人たちの思考に触れ、それを踏まえて自分も思考して血肉とすること。紹介されたほとんどの本は、図書館で読むことができます（一部予約・リクエストが必要です）。気になる本があったら、ぜひ借りてみてくださいね！



## 極め道

『古事記 巻・弐 マンガ古典文学』

里中 満智子/著 小学館 913.2/コ/17-1,13-2

「古事記」は神話を含む日本最古の歴史書で、712年奈良時代に完成した。この世のはじまりから推古天皇までの記録が編纂されている。名前だけは知っているという方でも、「イザナギ・イザナミの国生み」「ヤマタノオロチ」「いなばの白うさぎ」などの神話は子どもの頃に絵本で読んだ方は多いにちがいない。

本書は、里中満智子さんが、原文に沿って「物語」としてマンガ化したもので、ストーリーの面白さが存分に楽しめる。しかも章毎にミニ解説が挿入されていて、理解しやすくなっている。

この機に、「古事記」の深淵な世界に浸ってみてはどうだろう。

## テーマ 桜

毎年決まった時季に花を咲かせる桜。見ていて優しい気持ちになれます。卒業・入学のシーズンと桜の季節が重なり思い出の場面での登場も。



### 『美味しい桜 食べる桜・見る桜・知る桜』

平出 眞/編著 旭屋出版 596.3/オ/15 3階実用

春になると満開の花を咲かせて、私たちを楽しませてくれる桜。その魅力を凝縮したのがこちらの本です。まずは「食べる桜」。桜をかたどった和菓子や桜の風味をつけたスイーツ、桜の塩漬けを使った料理など、おいしい“桜”を販売しているお店やレシピを紹介しています。次に「見る桜」。全国の名桜やお花見名所マップ、そして桜が描かれた芸術作品、世界の桜の名所を紹介しています。最後に「知る桜」。植物としての桜の知識や図鑑、日本人と桜との歴史、桜の文学など、より深く桜について知ることができます。桜をいろいろな面から満喫できる、贅沢な一冊です。

### 『おさびし山のさくらの木』

宮内 婦貴子/文 いせ ひでこ/絵 B1出版 E/ヒエ/15-27 3階児童

桜は春、一斉に花咲き、やがて一斉に散っていく。そして次の春、再び花開く。日本人にとって特別な感情を与えてくれる花である。

この絵本は、そんな「さくらの木」と旅人との出会いと別れを描く。脚本家宮内婦貴子さんによる1987年発行の本を底本とし、画家のいせひでこさんが東日本大震災を経て、新たにスケッチを重ね、絵を描きおろして絵本として蘇った作品である。命あるものはいつかその命を失うけれど、また新しい命となって必ず再会できるという、生命の再生と希望をテーマにした味わい深い作品。

淡い色調で描かれる季節の移ろいの幻想的な風景はとても美しい。画面いっぱいに描かれた桜の木や草花と文から生命の再生力をじっくりと感じてみてね。



### 『桜の木の見える場所』

パオラ・ペレッティ/作 関口 英子/訳 小学館 97/シヨ/19 3階児童

徐々に視力が失われていく「スターガルト病」という難病になった少女、マファルダ。見えていたものが見えなくなったり、できていたことができなくなったりと、日常生活にも影響を及ぼしています。その中で出会った用務員・エステッラやまわりの人々との交流はマファルダを成長させていき…。同じ病と闘う作者が描いた感動の物語です。

作中、どのくらい目が見えているのか桜の木まで歩いて確認するというシーンが何回か出てきます。話が進むにつれ距離が10メートルずつ短くなっていくのですが、そのたびに悩み、戸惑い、そして成長する…。そんなマファルダの感情の動きにグッときます。

### 『卒業 桜舞う春に、また君と』汐見 夏衛、丸井 とまと、河野 美姫、

水葉 直人/著 スターツ出版 913.68/ソ/21

桜舞う季節、それは出会いと別れの季節でもありますよね。この作品は4人の作者が「卒業」をテーマにいろんな思いを紡いだ短編集です。

兄の急死で家族との関係がぎくしゃくし反抗してしまうが、余命いくばくもない少女との出会いで変わっていく男子中学生。自分に自信を持ってない女子高生が、手紙が自分宛ではないとわかっていながらも正体を偽って返事を書き続け、そこから新たな出会い、展開が…。などなど、どの作品もそれぞれの主人公が悩みながらも成長する姿が描かれています。

きっと共感必至、キュンとするフレーズにも出会えますよ！



# ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)



## 『書く力 加藤周一の名文に学ぶ』

驚巢 力/著 集英社 816/力/22 味美

副題にある「加藤周一」とは戦後の日本を代表する思想家であり、『世界大百科事典』（平凡社）の編集者でもある。彼の文章のみを例題に挙げて、上手い文章とは、さらに加藤周一をも考察していくというものであった。

「読点」「起承転結」「比喩表現」といった基本的な項目をはじめ24項目に及ぶ解説と共に深く鋭い加藤周一の切り口による文章に触れることは、自分がどう書くかを忘れて魅入られてしまった。初めて出てくる、書店の話はとても分かりやすく、こんな文章を書きたいと思わせると同時に、書く力は、個人の洞察力の賜物だと痛感させられた。



音楽にメイク、食べ物など…私たちの日常に欠かせないものとなってきた韓国発のもの。好きな方は多くいらっしゃると思います。私も大好きでして…。そんな私が今はまっているのは「本」です。日本人とはまた違う感性で作られた作品は、とても面白く、また、文化の違いに驚くこともあります。そこが魅力でもあります。(日本語訳ですが…)

そこで今回は、次の4作品をご紹介します。①は火災事故から助かった奇跡の少女の物語。②は近未来の韓国で暮らす少年の話。③は水泳部エースの成長物語。④は不思議なあめ玉の話。どれもおすすめです☆

### ①『ユ・ウォン』

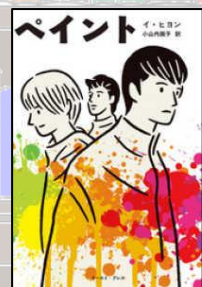
バク オニユ/著  
吉原 育子/訳  
祥伝社 929.1/ユ/22

4階一般



### ②『ペイント』

イ ヒヨン/著  
小山内 園子/訳  
イースト・プレス  
929.1/へ/21



### ③『5番レーン』

ウン ソホル/作  
ノ インギョン/絵 すんみ/訳  
鈴木出版  
92/スス/22 3階児童



### ④『あめだま』

バク ヒナ/作  
長谷川 義史/訳  
ブロンズ新社  
E/フロ/18-26X26  
3階児童



# 大人の お 推しコレ



お ぼん  
大人の推し本  
コレクション



## 『世界で一番美しい元素図鑑』

セオドア・グレイ/著 ニック・マン/写真 若林 文高/監修  
武井 摩利/訳 創元社 431.1/セ/10 4階一般

“世界で一番美しい図鑑”シリーズのはしりとなった本です。元素図鑑というとちょっと小難しい感じがしますが、この本ではそんなことはありません。

まず、色鮮やかな写真で元素やそれに因んだものを紹介し、目を楽しませてくれます。説明はちょっと専門的なところもありますが、元素に因んだエピソードなどがユーモアを交えて紹介されており、小話のようにどんどん読んでいくことができます。科学好きでもそうでなくても、元素の魅力に引き込まれる図鑑です。



## 名作 たからばこ



『夢見る帝国図書館』 中島 京子/著 文藝春秋

F/ナカ/19 4階一般

小説を書いている主人公の私は、年上の知人、喜和子さんから「図書館を主人公にした小説を書いてみない？」と頼まれます。この喜和子さんという女性、本がとにかく大好きで本に囲まれていればしあわせで、という人なのですが、ちょっと個性的でひょうひょうとしているというか、一言でいうと“軽やか”という表現があてはまるような素敵な女性です。しかし、この喜和子さんは激動の人生を歩んでいて、彼女の物語と日本で初めてできた図書館の歴史物語、この二つの物語が交互に描かれていきます。

最初は突然、福沢諭吉や森鴎外、山本有三など図書館を愛した、いえ、図書館に愛された人々の話が出てくるので、戸惑ってしまうかもしれませんが、実にテンポよく進んでいきます。

本好きの人には、ぜひ一度読んでもらいたい一冊です。

## ティーンズコーナーで待っています！

ティーンズコーナーは、中高生（ティーンズ）世代向けに、さまざまなジャンルの本を集めたコーナーです。図書館3階の北側自動ドアから入り、まっすぐ進んだ先の左側の本棚にあります。看板が目印！

悩み解決のヒントになる本、知識を深める本、趣味を広げる本など、児童書よりもステップアップした内容のものや、10代の皆さんにおすすめの読み物を用意しています。

「〇〇について調べたい！」  
「△△の本はどこ？」など、  
本に関する相談や探し物は  
職員に気軽に聞いてみてね。



©Kasugai City 2008  
書のまち春日井「道庵くん」

発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町 5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。